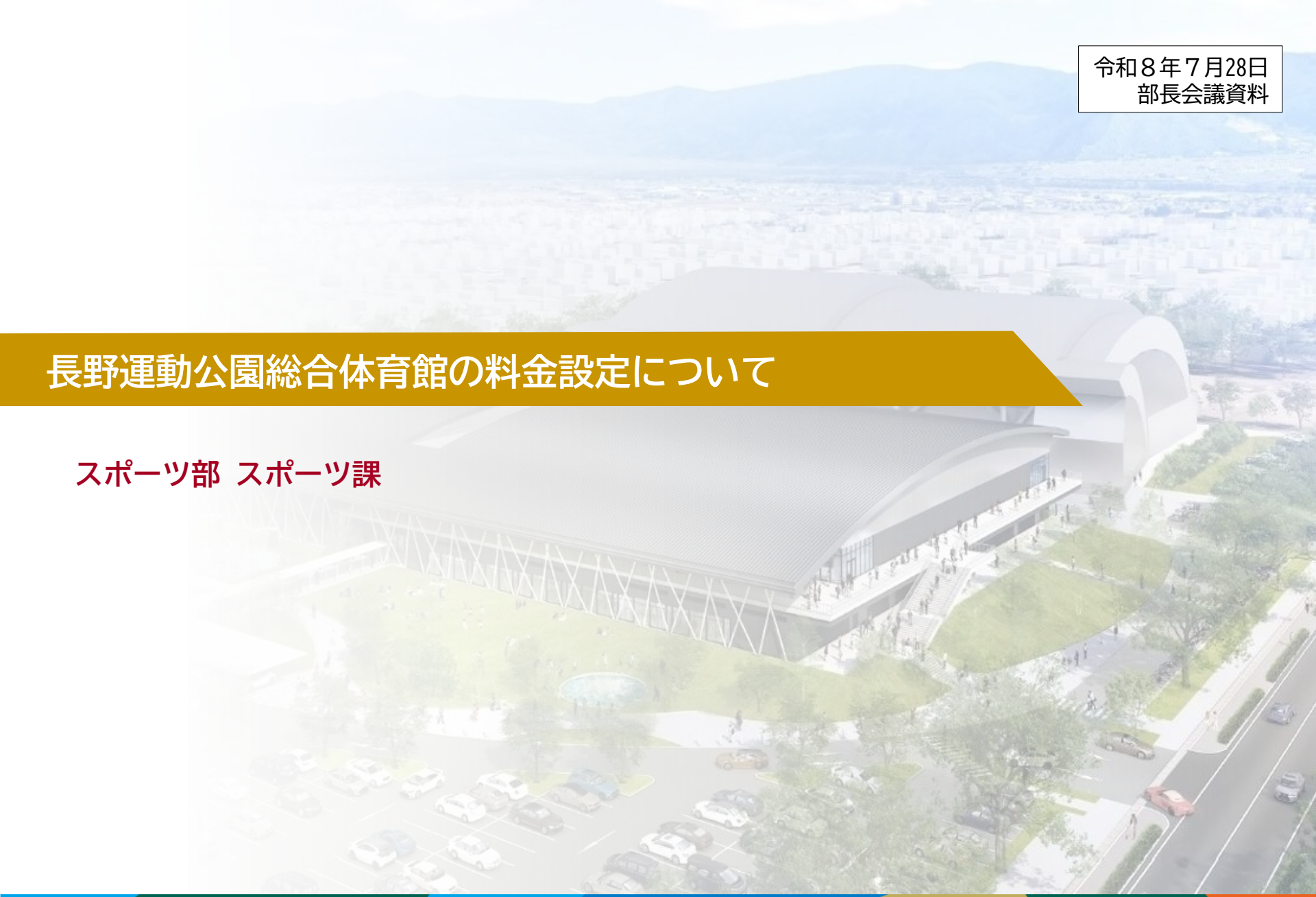
令和８年７月28日
部長会議資料

長野運動公園総合体育館の料金設定について



スポーツ部 スポーツ課

長野運動公園総合体育館の概要（新旧比較）

	現行	新
建設年度	昭和53年度	令和8(2026)年度予定
構造、延床面積	RC造(補助体育館SRC造)　8,662㎡	鉄骨造　12,112㎡
メインアリーナ	1,925㎡ ・観客席1,200席(可動席なし) ・フットサル利用：不可	2,362㎡ ・観客席2,040席(可動席828席含む) ・フットサル利用：可
サブアリーナ	866㎡	1,130㎡　観客席　109席
柔道場	465㎡(208畳)	501㎡(240畳)
剣道場	363㎡	287㎡
多目的室	卓球場　常時9台設置	371㎡　卓球、ヨガやダンス等に利用可能
体操場	なし	1,077㎡
会議室	3室	3室
冷暖房設備	暖房のみ	冷暖房完備　(輻射式空調※)
主な活用の範囲	主にアマチュアスポーツで活用	・主にアマチュアスポーツで活用 ・ボアルース長野のリーグ戦等で活用
運営	指定管理者による運営	現行の指定管理者による運営を継続

※ 輻射式空調：床などから放射される熱(輻射熱)を利用して快適な温度にする空調方式

新総合体育館の料金設定に関する方針　（令和８年７月３日 第１回スポーツ推進審議会 審議事項）

1 新総合体育館は、引き続き市民団体等によるアマチュアスポーツ利用が主体となる見込みであることから**市民が利用しやすい料金**とする。

2 新総合体育館の規模や設備が大きく変わり、施設維持・運営コストを現時点で正確に算出することができないため、**暫定的に現行の総合体育館の料金や、類似施設を参考として新料金を設定**する。
なお、実績に基づき3年後を目安に見直しを行う。

3 アリーナの輻射式空調設備は、気候に応じて常時稼働となる予定であることから、空調利用料をアリーナ利用料へ上乗せする。

4 地域密着型プロスポーツチームであるボアルース長野の利用が想定されるため、ホワイトリングや長野Uスタジアムと同様に、入場料等の収益に応じて利用料を徴収できる**変動制料金を導入**する。

5 指定管理者の柔軟な運用が可能となる設定とする。

● 参考：行政サービスの利用者負担に関する基準

長野市では、行政サービス利用者に対し、受ける利益に応じた費用負担を求める基準を定めている。

市営体育施設に係る利用者負担割合 ＝ 施設維持・運営コストの50%

※ 現行の総合体育館の状況については11ページ参照

新たな総合体育館の料金設定の考え方 ①

新たな総合体育館の料金体系

現行の総合体育館の料金を基本とし、類似施設の状況を参考に、当面3年間の料金を設定する。

現行の総合体育館にない機能等の料金設定

- 冷暖房設備の導入に伴う設定

  → アリーナ空調は、利用者が要否を選択できないため、維持・運営コストとして位置づけ、アリーナ利用料へ上乗せする。
  （空調コストの一部をアリーナ利用料へ上乗せ）
  アリーナ以外の諸室は、現行施設を参考に設定する。

- 地域密着型プロスポーツチームの利用を想定した設定

  → 入場料等の総額の5%の金額。ただし、下限額を定める。
  下限額はホワイトリングと同様に、市外団体区分の全日分として設定する。

- 体操場の新設に伴う設定

  → 専用利用料金のほか、個人利用に対応できるような料金設定を行う。
  （使用する器具に応じた料金設定）

- 多目的室の新設に伴う設定

  → 現行の総合体育館 卓球場（9台常設）を基に料金設定する。

新たな総合体育館の料金設定の考え方 ②

- **条例上は上限額を設定（実際の利用料金は、長野市と指定管理者が協議し、決定）**

1　指定管理者による柔軟な企画や裁量を妨げない料金体系とする。

2　コストの変動にも対応できる料金体系とする。

3　一部スポーツ施設でも取り入れている幅を持たせた料金体系とする。

上限額は、新料金（案）の1.5倍に設定

【幅のある料金体系イメージ】

季節、曜日、時間帯等によるきめ細かな料金設定の工夫

指定管理者によるサービスの工夫

空調利用料の公平な徴収

＋

コスト変動への対応

利用料金

利用料金を設定できる範囲（幅）

上限額

条例に定める金額

類似施設の状況

比較対象：メインアリーナ

施設名	規模	竣工年月	市内団体利用 2時間利用	冷暖房 2時間利用	備考
ANCアリーナ （安曇野市）	1,828㎡（ 996席）	R3.10	6,400円	4,000円	
ユメックスアリーナ （塩尻市）	1,536㎡（ 708席）	R3.4	6,000円	利用料金に含む （季節料金あり）	輻射式空調
池の川さくらアリーナ （茨城県）	2,646㎡(2,612席)	H28.5	5,350円	6,600円	
ウィングアリーナ （愛知県）	2,000㎡(2,376席)	H19.1	5,430円(休日) 4,500円(平日)	35,600円	
アイシンスポーツアリーナ （福井県）	2,155㎡(1,284席)	H29.6	4,000円(休日) 3,000円(平日)	4,000円	
【現行】総合体育館	1,925㎡(1,200席)	S53	3,750円	20,800円	暖房のみ
ことぶきアリーナ （千曲市）	1,794㎡(3,020席)	R1.8	3,000円	16,100円	

規模が2,000㎡以上の施設は3,000円～5,430円の料金設定
R3以降竣工の施設は、2,000㎡未満でも6,000円を超える料金設定

輻射式空調を導入した施設では、冷暖房料金を平準化し、利用料金に含めている。

冷暖房に係る現在の想定コストと設定方法

冷暖房設備		
区分	使用電気量 （1時間当たり）	コスト （1時間当たり）
メインアリーナ	226.2kw	4,346円
サブアリーナ	104.4kw	2,006円
メインアリーナ観客席	122.4kw	2,352円
サブアリーナ観客席	32.7kw	629円
柔道場	19.3kw	371円
剣道場	12.4kw	239円
体操場	31.9kw	613円
多目的室	11.2kw	216円

原則、常時稼働 → 利用者負担50%を目安に新料金に含む

稼働を選択可能 → 実費相当額を料金として設定

電力料金の算出:19.21円/kw(中部電力　高圧業務用電力)

主な料金区分の料金及び上限額（案）

アマチュアスポーツ利用 入場料徴収なし（市内団体利用）：昼間2時間

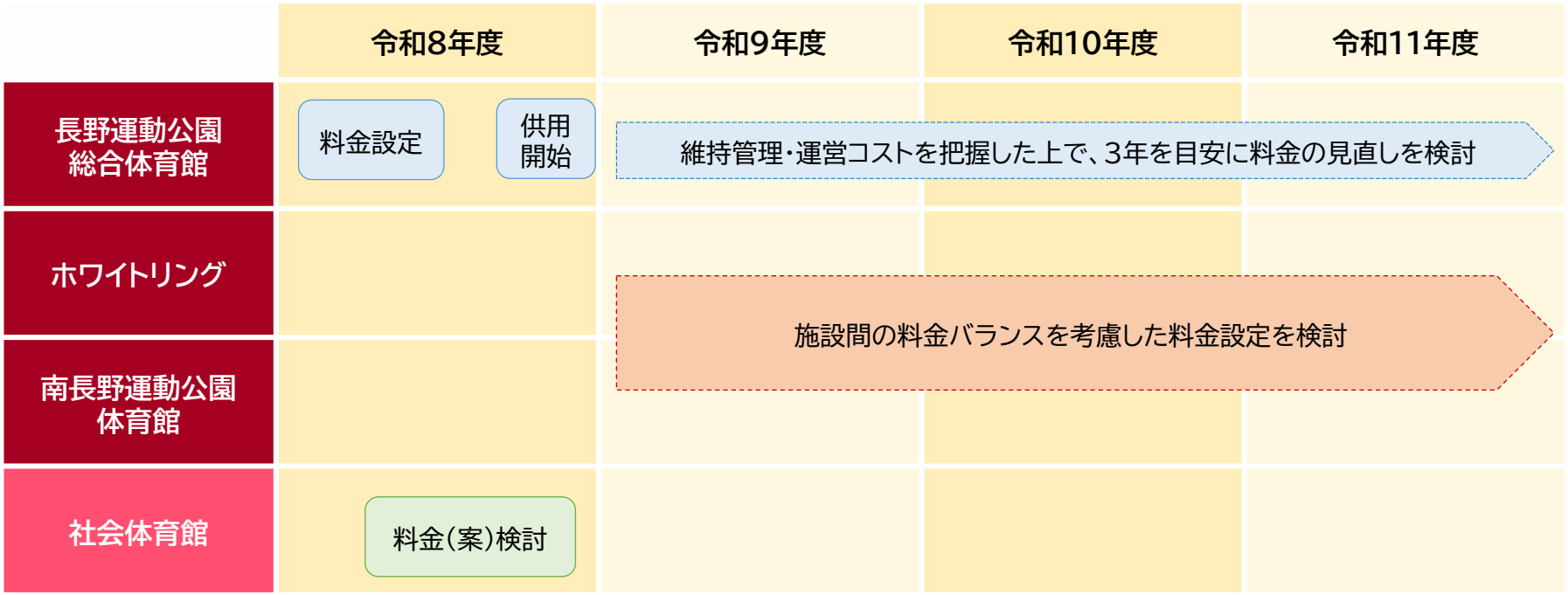
名称	現行料金		新料金		上限額 条例上の料金
メインアリーナ	3,750円	アリーナのみ 冷暖房料を含む。	6,000円	柔軟性の確保等 1.5倍	9,000円
サブアリーナ	2,250円	メイン+2000円/2時間 サブ　+1000円/2時間	3,400円		5,100円
柔道場	2, 250円	現行及び類似施設を基に設定	2, 400円		3,600円
剣道場	2, 250円		2, 400円		3,600円
体操場	－		2,400円		3,600円
多目的室	1,200円 （卓球場）		1,300円		1,950円

現行施設を基に倍率を設定

ｱﾏﾁｭｱｽﾎﾟｰﾂ利用 （入場料徴収あり） 又は市外団体 ：2.5倍	興行等 （入場料徴収なし）：4倍	興行等 （入場料徴収あり）：12倍

大規模体育館等に係る料金見直しのロードマップ

長野運動公園新総合体育館	・現行の総合体育館の料金を基本とし、類似施設の状況を参考に当面3年間の料金を設定
ホワイトリング 南長野運動公園体育館	・ 施設規模等に対し、施設間の料金バランスを考慮した料金設定を検討



料金設定に係る経過と今後のスケジュール

令和8年1月23日	令和7年度 第2回スポーツ推進審議会 「大規模体育館の料金の考え方について」
令和8年7月3日	令和8年度 第1回スポーツ推進審議会 「長野運動公園新総合体育館の料金設定について」
令和8年7月28日	部長会議
令和8年8月4日	政策説明会
令和8年8月7日	法規審査委員会
令和8年9月	9月市議会定例会　議案提出
令和9年1月	総合体育館　供用開始

参考：現行の長野運動公園総合体育館における利用者負担の状況

- 利用者の負担額（利用料金）の基本的な算定式（行政サービスの利用者負担に関する基準）

サービスのコスト総額（原価）× サービスの類型による利用者負担割合※ ＝ 利用者の負担額（利用料金）

※ 市営体育施設で提供するサービスの公益性等を考慮し、維持管理運営コストの50%で算定

- **現行の総合体育館の状況（R7年度実績）**

収入科目	総合体育館
指定管理料	17,300,000円
施設利用料	18,116,455円
自販機収入	1,957,592円
収入合計	37,374,047円

支出科目	総合体育館
人件費	12,131,445円
施設管理費	2,548,062円
光熱水費	3,220,652円
その他	19,360,066円
支出合計	37,260,225円

サービスのコスト総額 37,260,225円 × 体育施設の利用者負担割合 50% ＝ 利用者の負担額の目安 18,630,113円

施設利用料実績 18,116,455円 ≒ 利用者の負担額の目安 18,630,113円 ← 現行の総合体育館の利用料金はバランスが取れている

参考：コスト変動への対応

施設運営に影響が大きな主なコストの状況

総合体育館の施設維持･運営コストの主な項目は、人件費、光熱水費、設備管理費であり、近年の最低賃金上昇、物価高騰等による影響を受けやすい。

【長野県最低賃金】

	最低賃金	上昇率(前年比)
R7	1,061円	6.3
R6	998円	5.2
R5	948円	4.4
R4	908円	3.5
R3	877円	3.2
R2	849円	

【令和7年平均消費者物価指数】

	物価指数	上昇率(前年比)
R7	111.2	3.3
R6	107.9	2.7
R5	105.2	3.1
R4	102.1	2.3
R3	99.8	-0.2
R2	100	

最近3年間において、最低賃金は平均5.3ポイント、消費者物価指数は平均3ポイントの上昇

参考：新料金表（案）

区分			8時30分～11時	11時～13時	13時～15時	15時～17時	17時～19時	19時～21時	8時30分～17時
アマチュアスポーツ利用	入場料徴収なし	メインアリーナ	7,200	6,000	6,000	6,000	9,600	9,600	24,000
		サブアリーナ	4,080	3,400	3,400	3,400	5,440	5,440	13,600
		柔道場	2,880	2,400	2,400	2,400	3,840	3,840	9,600
		剣道場	2,880	2,400	2,400	2,400	3,840	3,840	9,600
		体操場	2,880	2,400	2,400	2,400	3,840	3,840	9,600
		多目的室	1,560	1,300	1,300	1,300	2,080	2,080	5,200
	入場料徴収あり又は市外団体	メインアリーナ	18,000	15,000	15,000	15,000	24,000	24,000	60,000
		サブアリーナ	10,200	8,500	8,500	8,500	13,600	13,600	34,000
		柔道場	7,200	6,000	6,000	6,000	9,600	9,600	24,000
		剣道場	7,200	6,000	6,000	6,000	9,600	9,600	24,000
		体操場	7,200	6,000	6,000	6,000	9,600	9,600	24,000
		多目的室	3,900	3,250	3,250	3,250	5,200	5,200	13,000
上記以外利用（興行等）	入場料徴収なし	メインアリーナ	28,800	24,000	24,000	24,000	38,400	38,400	96,000
		サブアリーナ	16,320	13,600	13,600	13,600	21,760	21,760	54,400
		柔道場	11,520	9,600	9,600	9,600	15,360	15,360	38,400
		剣道場	11,520	9,600	9,600	9,600	15,360	15,360	38,400
		体操場	11,520	9,600	9,600	9,600	15,360	15,360	38,400
		多目的室	6,240	5,200	5,200	5,200	8,320	8,320	20,800
	入場料徴収あり	メインアリーナ	86,400	72,000	72,000	72,000	115,200	115,200	288,000
		サブアリーナ	48,960	40,800	40,800	40,800	65,280	65,280	163,200
		柔道場	34,560	28,800	28,800	28,800	46,080	46,080	115,200
		剣道場	34,560	28,800	28,800	28,800	46,080	46,080	115,200
		体操場	34,560	28,800	28,800	28,800	46,080	46,080	115,200
		多目的室	18,720	15,600	15,600	15,600	24,960	24,960	62,400

参考：条例に定める上限額（案）

区分			8時30分～11時	11時～13時	13時～15時	15時～17時	17時～19時	19時～21時	8時30分～17時
アマチュアスポーツ利用	入場料徴収なし	メインアリーナ	10,800	9,000	9,000	9,000	14,400	14,400	36,000
		サブアリーナ	6,120	5,100	5,100	5,100	8,160	8,160	20,400
		柔道場	4,320	3,600	3,600	3,600	5,760	5,760	14,400
		剣道場	4,320	3,600	3,600	3,600	5,760	5,760	14,400
		体操場	4,320	3,600	3,600	3,600	5,760	5,760	14,400
		多目的室	2,340	1,950	1,950	1,950	3,120	3,120	7,800
	入場料徴収あり又は市外団体	メインアリーナ	27,000	22,500	22,500	22,500	36,000	36,000	90,000
		サブアリーナ	15,300	12,750	12,750	12,750	20,400	20,400	51,000
		柔道場	10,800	9,000	9,000	9,000	14,400	14,400	36,000
		剣道場	10,800	9,000	9,000	9,000	14,400	14,400	36,000
		体操場	10,800	9,000	9,000	9,000	14,400	14,400	36,000
		多目的室	5,850	4,880	4,880	4,880	7,800	7,800	19,500
上記以外利用（興行等）	入場料徴収なし	メインアリーナ	43,200	36,000	36,000	36,000	57,600	57,600	144,000
		サブアリーナ	24,480	20,400	20,400	20,400	32,640	32,640	81,600
		柔道場	17,280	14,400	14,400	14,400	23,040	23,040	57,600
		剣道場	17,280	14,400	14,400	14,400	23,040	23,040	57,600
		体操場	17,280	14,400	14,400	14,400	23,040	23,040	57,600
		多目的室	9,360	7,800	7,800	7,800	12,480	12,480	31,200
	入場料徴収あり	メインアリーナ	129,600	108,000	108,000	108,000	172,800	172,800	432,000
		サブアリーナ	73,440	61,200	61,200	61,200	97,920	97,920	244,800
		柔道場	51,840	43,200	43,200	43,200	69,120	69,120	172,800
		剣道場	51,840	43,200	43,200	43,200	69,120	69,120	172,800
		体操場	51,840	43,200	43,200	43,200	69,120	69,120	172,800
		多目的室	28,080	23,400	23,400	23,400	37,440	37,440	93,600